

新和建設 だより ～新和のわ～

vol. 4

2026年7月24日発行

施工前

施工後

クローズアップ！ 新和建設の現場 vol. 1

新和建設が手掛ける現場のリアルに迫る本企画。
記念すべき第1回は、土砂災害を未然に防ぐた
め、3箇所の現場を同時に管理するという、難易
度の高い「急傾斜地工事」にスポットを当てます。

土木部

まつ やま ゆう ぞう

松山 裕三さん

工事概要

工事名：室蘭中島本町3丁目4外 急傾斜地崩壊対策工事外

発注者：北海道 胆振総合振興局 室蘭建設管理部

工期：2025年7月1日～2026年3月23日

場所：北海道室蘭市中島本町

▶▶工事内容

土砂崩れを防ぐ急傾斜地工事

大雨などによる土砂崩れを未然に防ぐため、専
用の機械で斜面を深く掘り、そこに鋼管やH鋼
杭を建て込んで山を安定させるのが「急傾斜地
工事」です。今回の現場は、室蘭市中島本町と幕
西町の計3箇所を並行して進める工事でした。

3箇所をまとめる複雑な工程

通常の現場とは異なり、今回は3箇所を同時に
管理する必要がありました。また、中島本町の一
部では、斜面に固定式のクレーンを組み立てる
「相取(あいどり)工法」という、特許工法を使用
しています。しかし、その専門業者が現場に入れ
るのが12月だったため、それまでに他の作業を
終わらせなければならないスケジュールの制約
が発生。4～5社の下請け業者がかかわるトー
ータル15～20名規模の作業を円滑に回すことが求
められました。

▶▶こだわったポイント

徹底した段取り

現場管理の社員が私と若手の2名だけだったため、**スケ
ジュールを厳守しなければ、後々仕事が進み重なってしま
う**と考え、相取工法の業者が入る12月までに、他の2箇所の
作業と書類作成をすべて終わらせようと当初から動いてい
ました。そこで心がけたのが、仮設工事を早め早めに完了さ
せることです。**近隣の民家を守るための防護柵や、機械を載
せる足場をあらかじめ設置**しておくことで、削孔を担当す
るボーリング会社が到着して、すぐに作業を始められる段
取りを整えました。幸い、下請け業者の皆さんは昔からよく
知っている方ばかり。図面を見せながら説明するだけでス
ムーズに意思疎通が図れ、非常に助かりました。

▶▶現場で得た達成感

工期前に完了した書類作成

現場仕事は検査のための検定書類を作り終えて初めて完
了となります。後から溜まると大変なため、今回は**現場作
業と並行して書類作成を進め、若手社員にも一部を任せま
した**。
本現場の工期は3月23日。その数日後に検査が控えていま
した。通常は工期終了後にタイトなスケジュールで書類に
追われますが、**事前に進めていたおかげで、工期当日に書類
はほぼ完成**。そのため、検査を前にしたときも、慌てること
なく達成感を得ることができました。

若手社員のチャレンジ

これまで写真撮影や測量といった、現場作業が中心
だった若手社員の成長を促すため、今回は設計書と
見比べながら書類を作成してもらいました。初めての
経験でコツを掴むのに苦労し、何度も確認を繰り返して時間がかかり心配もしましたが、仕事の要領
を得てほしいと見守っていました。書類作成は現場
の動きと連動しているため、**工事全体を見渡す力を
養う良い機会**になったと思います。

▶▶今後に活かしたい学び

段取りの重要性と若手育成

何十年と現場を経験してきましたが、作業をスムー
ズに進めるためには、やはり事前の「段取り」が最も
大切だと改めて認識しました。加えて、若手社員の
育成も私にとっての課題だと感じました。何でも聞
いてほしいと思っていますが、なかなか自分から質
問するのは難しいもの。若手をどう導き、どう育成
していくかが、これからの私の役割だと感じていま
す。今後また一緒に仕事をする機会があれば、今度
は施工計画書の作成や人員の手配など、一から計画
を立てる経験を積んでもらい、独り立ちできるよう
サポートしていきたいです。

資格取得への道

2級土木施工管理技士編

資格取得までの勉強方法

会社の支援制度を最大限に活用

土木の会社に入社したからには関連資格を取得しておこうと考え、2級土木施工管理技士の取得を目指しました。勉強期間は3〜4か月ほどで、1日2〜3時間を学習に充てました。**会社は空き時間を学習に使える柔軟な環境であるため、その時間も活用し、メリハリをつけて学習したのがポイント**です。

学習の工夫は、解説付きで過去問を解けるインターネットのサイトを見つけ、ひたすら反復練習を行うこと。わからない箇所があれば参考書で確認し、理解を深めました。また、会社の充実した補助制度にも助けられました。3日間の講習会参加費や市販の参考書代をはじめ、受験費用、札幌にある試験会場までの交通費など、**費用面はすべて会社に負担していただき、安心して勉強に集中**することができたと思います。

資格取得のメリット

- ❗ 法律知識が習得できる!
- ❗ 業務がスムーズに進められる!
- ❗ 給与が上がる!

私は主に事務所で契約関係の業務を担当していますが、資格取得のための**勉強を通じて工事内容への理解が深まりました**。特に書類作成においては、労働安全衛生法や労働基準法などの法律知識が直接役立っています。

現場担当者から単価や木材などの部材価格について調べ物を依頼される際も、知識があることで意図を正確に把握できるようになりました。専門的な知識を基にコミュニケーションが取れるため、**やり取りにかかる時間が短縮され、現場の業務負担軽減**にもつながっていると感じます。さらに、資格手当によって給与が上がったことも、大きなモチベーションになりました。現在は、さらなる専門知識の習得を目指して1級の取得に向けて勉強を続けています。

2級土木施工管理技士の取得は、関連法規や契約業務の理解を深め、現場との円滑な連携を実現する確かな武器となります。見事取得された小濱さんから、合格までの道のりにおけるコツや、取得したことによる嬉しい効果をお聞きました。



土木部
こはま けんじ
小濱 健二さん



資格取得を目指す方への
メッセージ

今の努力が将来の糧に

勉強は決して楽なものではありませんが、参考書の内容をしっかりと理解できれば、数か月の学習で取得が可能な資格です。例えば、自分が経験した現場について記述する2次試験の作文では、自社の過去の現場資料を確認し、当時の様子を先輩社員に質問することで無事に書き上げることができました。**わからないことがあれば先輩が教えてくれる環境**なので、難しく考えすぎる必要はありません。長い社会人生活のうち、数か月間集中して勉強するだけで、**その後のキャリアにおいて大きな武器**となります。頭の柔らかい若いうちに取得しておくことで、得られるメリットはさらに大きくなるはずです。ぜひ前向きに挑戦してみてください。

現場で実践中! /

熱中症対策

暑い夏を安全に乗り切るために、皆さんは日々どのような工夫を行っていますか? 今回は、おすすめのアイテムや現場での熱中症予防の取り組みについて、小間さんに伺いました。



維持部門
こま うれい じ
小間 玲司さん

実践中の熱中症対策

塩分・水分補給や空調機能付きのウェアを活用中

意識しているのは、塩分・水分の補給です。屋外で作業を行う中、汗をかくと水分が失われるため、水分補給と共に塩分タブレットを摂取して、脱水予防に役立っています。また、会社から熱中症対策として支給された、空調機能付きの作業服も使用中です。これらのアイテムのおかげで、暑い夏も乗り切れると考えています。



おすすめの対策アイテムとポイント

水分補給と塩分補給は欠かせません。ミネラルが入った麦茶やスポーツドリンクをよく飲んでいきます。塩分タブレットは気温が高くても溶けづらいため、個人的には塩飴よりおすすめです。また、空調付きウェアのおかげで涼しく快適に作業ができます。

チーム全体での工夫



こまめな休憩や冷やしたドリンク、お互いへの声かけも

朝礼時は体調チェックを行い、作業中もお互いの顔色や様子を確認しています。ほかにも、現場の仲間が熱中症にならないようにこまめに休憩を取ったり、クーラーボックスに入れた飲み物を現場に持っていったりと工夫をしています。お互いが気兼ねなく声をかけ合える雰囲気があり、仲間思いの現場です。

